

12月 新着図書

汝、星のごとく

著者名: 風良ゆう
 出版社: 講談社

風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた榎。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

方舟

著者名: 夕木春央
 出版社: 講談社

大学時代の友達と従兄と一緒に山奥の地下建築を訪れた柊一は、偶然出会った三人家族とともに地下建築の中で夜を越すことになった。翌日の明け方、地震が発生し、扉が岩でふさがれた。さらに地盤に異変が起き、水が流入しはじめた。いずれ地下建築は水没する。そんな矢先に殺人が起こった。だれか一人を犠牲にすれば脱出できる。タイムリミットまでおよそ1週間。生贄には、その犯人がなるべきだ。一犯人以外の全員が、そう思った。

瓢箪から人生

著者名: 夏井いつき
 出版社: 小学館



振り返ってみればなんと幸運な出会いであったか。「これだけはどうしても書いておきたかった」思いもよらぬ人生の悲喜交々と俳句の日々を綴ったエッセイ集。

孤蝶の城

著者名: 桜木紫乃
 出版社: 新潮社



モロッコで秀男はカーニバル真子の「最後の仕上げ」となる手術を受け、日本で初めて「女の体」を手に入れた。好奇と蔑みの目、喝采と屈辱を浴び、話題を振りまきつつ、やがて追い詰められていく。「自己」と闘う思春期から『緋の河』『世間』と闘う激動期を活写する完結篇。

烏の緑羽

著者名: 阿部智里
 出版社: 文藝春秋

「なぜ、私の配下になった？」生まれながらに山内を守ることを宿命づけられた皇子。葛藤と成長、彼らのその先には—

クリ粥

著者名: 山本一力
 出版社: 祥伝社

長屋の桶職人の最期の願いを叶えるため、時季外れのクリを手に入れる！深川一の疾風駕籠の二人が希望を信じて、江戸の町を奔る、奔る！

幻告

著者名: 五十嵐律人
 出版社: 講談社

裁判所書記官として働く宇久井傑。ある日、法廷で意識を失って目覚めると、そこは五年前—父親が有罪判決を受けた裁判のさなかだった。冤罪の可能性に気がついた傑は、タイムリープを繰り返しながら真相を探り始める。しかし、過去に影響を及ぼした分だけ、五年後の「今」が変容。親友を失い、さらに最悪の事態が傑を襲う。未来を懸けたタイムリープの果てに、傑が導く真実とは。リーガルミステリーの新星、圧巻の最高到達点！

レッドゾーン

著者名: 夏川草介
 出版社: 小学館



大反響を呼んだ『臨床の砦』続編！コロナ禍の最前線に立つ現役医師が自らの経験をもとに綴った、勇気の世界。

リバー

著者名: 奥田英朗
 出版社: 集英社

群馬県桐生市と栃木県足利市を流れる渡良瀬川の河川敷で相次いで女性の死体が発見！十年前の未解決連続殺人事件と酷似した手口が、街を凍らせていく。かつて容疑者だった男。取り調べをした元刑事。娘を殺され、執念深く犯人捜しを続ける父親。若手新聞記者。一風変わった犯罪心理学者。新たな容疑者たち。十年分の苦悩と悔恨は、真実を暴き出せるのか—。

老人ホテル

著者名: 原田ひ香
 出版社: 光文社

埼玉県の大家族で育った日村天使(えんじえる)は、生活保護を受け自堕落な生活を送ってきた。大家族ファミリーとしてテレビにも出ていたが、16歳で家を出て、大宮のキャバクラ「マヤカシ」に勤める。そこでビルのオーナー綾小路光子と知り合った。数年後、訳あり老人が長逗留する古びたビジネスホテルにひっそりと暮らす光子と再会する。

12月 新着図書

施設長たいへんです、すぐ来てください！ 認知症「介護現場」の事件簿

著者名：柴谷匡哉
出版者：飛鳥新社

長寿日本一がいる老人ホームの施設長が教えます！涙と笑いと驚きのエピソードで…認知症でどうなる？どうすればいい？がわかる本！

全部を賭けない恋がはじまれば

著者名：稲田 万里
出版者：サンクチュアリ出版

めくるめく出会いの中で、「性」と「生」を赤裸々に描く、力強くも繊細な短編集。恋、仕事、友人、家族……。淡々と生きてきたつもりが、導かれるように出会い、巻き込まれていく。ほのかに揺れる心と理不尽で理解の追いつかない状況を、冷静にも芳醇に切り取る女性「コスモ・オナン」の18の物語。

ふしぎなひきだし

著者名：荻田澄子 つがねちかこ
出版者：金の星社

ひきだしのなかのかいだんをぬけるとそこには…すてきなせかいがまってるよ！

ふしぎ駄菓子屋銭天堂18

著者名：廣嶋玲子 jyajya
出版者：偕成社

「迷い家不動産によくこそ。どんな物件をおさがしですか？」「あい。じつは、あたくし、駄菓子屋をひらきたいと思っているんでござんす。ですので、お店としても住まいとしてもつかえる家がほしいんでござんす」「ほほう。駄菓子屋を。それは素晴らしいですな」ささっと、老人は手帳と筆をとりだし、メモを書きつけた。対象、小学校中学年から。